



## ご挨拶

埼玉県スキー連盟会長 坂本祐之輔

各連盟の会長を始めとする会員の皆様方には日頃よりスノースポーツの普及振興並びにスキーの競技力向上さらには埼玉県スキー連盟の活動に多大なるご尽力をいただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

本年2月、カナダのバンクーバーにおいて第21回オリンピック冬季競技大会が開催されました。

今大会の理念は「環境への配慮」「持続可能な発展」「先住民の参加」。しかしこの理念の中で大会を取り巻く地球環境は競技に少なからず影響を与えました。例年なら1月の平均気温は3.3度程度のバンクーバーで、2010年度は地球温暖化の影響で平均7.2度と例年を4度も上回りました。これは、同時期の東京の平均気温を凌ぐ高温で、このため雪が降らずフリースタイルスキーの会場にはヘリコプターで雪が運び込まれました。

また2008年の9月に始まった世界同時不況は今大会の運営にも影響を及ぼしました。選手村は大会後には分譲住宅として販売される予定でしたが、3月1日にはこの大会が赤字となったことが明らかになりました。

このことは同時期に開催された、第65回国民体育大会冬季大会くしろサッポロ氷雪国体でも考えさせられた問題です。2月というのに天候不順で雪が少なく、開催地の皆さんの会場設営のご努力はかなりのものであったと思います。そして今後の冬季国体の開催予定地は現在の地方自治体をはじめとする財政状況を鑑みた時に憂慮される問題であります。

まさに「暖冬異変」「経済情勢の悪化」とともに私たち日本においては少子化が進行しています。

しかしこのような状況だからこそ、将来の豊かな日本の発展のため、私たちは生涯スポーツの推進や将来を担う子供たちの健全な育成にさらなる努力を重ねていかなければならないと考えます。

この夏は「猛暑」「記録的な暑さ」が続きました。しかし間もなく毎年変わらぬ銀世界が私たちを迎えてくれます。

私たちはそこに雪山がある限り、スノースポーツの楽しさ、素晴らしさを体感し、より多くの方々に伝道師として広めていこうではありませんか！

結びに来たるべきシーズンに向けて、各連盟の限りないご発展とゆるぎない活動、そして会員の皆様のご健勝とご活躍をご祈念しご挨拶とさせていただきます。